

第1回 2012-2014 FIH 女子ワールドリーグ ラウンド2

日付	2013年2月22日 20:00~21:20	天候	晴れ
場所	インド/ニューデリー	通算結果	日本 2勝2分(SO2勝)
試合	第4戦		

Country

日本
JAPAN

RESULT

Full Time	2	-	2
Half Time	2	-	0
Shoot-Outs	3	-	2

Country

インド
INDIA

Start	No.	Name	Card
✓	1	大家 涼子(GK)	
✓	2	伴田 久美	
✓	3	坂井 志帆	
✓	4	小野真由美	
✓	5	大田 昭子	
✓	6	岩尾 幸美	
✓	7	中川未由希	
✓	8	駒澤 李佳(C)	
✓	9	三橋 亜記	
✓	10	新井 麻月	
8	11	加藤 彰子	
17	12	西村 綾加	
	13	田中 泉樹	
13	14	植田 彩	
✓	15	永井 友理	
13	16	深野 加弥	
52	17	錦織 えみ	
	18	吉川 由華(GK)	
監督	柳 承辰		
UMPIRE	HUDSON KELLY(NZL)		

Start	No.	Name	Card
✓	3	EKKA DEEP GRACE	
6	6	KIRANDEEP KAUR	
10	7	MINZ LILIMA	
✓	8	THOKCHOM CHANCHAN DEVI	
63	9	MAYENGBAM LILY CHANU	
	11	SAVITA(GK)	
✓	12	BALI YOGITA(GK)	
✓	14	RITU RANI(C)	
10	29	DUNG DUNG ROSELIN	
✓	16	KATARIYA VANDANA	
✓	19	TOPPO NAMITA	
10	21	YENDALA SOUNDARYA	
✓	22	BARLA ANUPA	
✓	23	JASPREET KAUR	G30分
✓	25	JOYDEEP KAUR	
✓	27	PUKHRAMBAM SUSHILA CHANU	G19分
✓	28	RANI	
11	31	NAVJOT KAUR	
監督	SUMRAI TETE		
UMPIRE	KADYROVA NATALYA(RUS)		

SHOOT-OUT COMPETITION

Country	Min	Name	Action	Score
JPN	4	坂井 志帆	PC	1-0
JPN	31	大田 昭子	PC	2-0
IND	62	YENDALA SOUNDARYA	PC	2月1日
IND	65	BARLA ANUPA	FG	2月2日

Country	Name	Result	Country	Name	Result
JPN	新井 麻月	○	IND	THOKCHOM	×
JPN	永井 友理	○	IND	RITU RANI	×
JPN	大田 昭子	×	IND	KATARIYA	×
JPN	加藤 彰子	×	IND	YENDALA	○
JPN	駒澤 李佳	○	IND	RANI	○

ワールドリーグ ラウンド2 第4戦、世界ランキング12位 インドとの対戦である。
 (前半)日本のセンターパスにより試合は開始された。立ち上がり、激しくぶつかり合う両チームであるが、ペースは日本にあった。前半3分、ライト側から打ち込んだクロスボールを新井がサークル内で受けシュート。相手GKが防いだボールに対し永井が反応、このシュートが相手DFの足に当たりPCを取得。このチャンスを坂井がドラッグでゴール左下に決め先制。なおも日本の攻撃は続く、10分レフト側LCより永井、大田、伴田とつなぎセンターリング。このボールに対し、サークルトップにポジションをとっていた中川が走りこみスライディングシュート。これが決まったかと思われたが、相手GKの好セーブに阻まれた。インドは、日本の激しい体をはったプレーを嫌がり、パスミス連発する。そんな中、16分、19分とチャンスが訪れるが、またもGKに阻まれ追加点をあげることができない。しかし、31分センターラインで、ボールを受けた三橋が40mをドリブル。サークル手前で、相手DFに倒されPCを取得。パントからタッチで狙ったシュートがGKに当たり大田の前にこぼれ、このボールを大田がおちついて押し込み2点目を奪った。この後、審判の笛に変化が現れ始めた。サークル内で相手FWがキックしたが判定はPC。このピンチを、駒澤が身を挺して防ぎ再びPC。次にドラッグシュートが一番機の体に直接あたったが再びPC。3回目のシュートはゴールへ向かったが、伴田がスティックで止め、2点リードで前半を終えた。
 (後半)前半の続きかと思われるような判定に苦しい展開は続くが、インドの攻撃もかみ合わない。苦しい判定を逃れる為、23mにボールが入らないよう中盤から守備を固める。いっぽう、選手たちであるが、判定が逆であっても、顔色も変えず走りぬいた。そんな中、58分には、連続してPCを取得するがミスもあり決めることができない。逆に62分サークル内に打ち込まれたボールに対しPCを奪われると、ゴール右側に外したパスをタッチされ失点。続く65分にも、自陣レフト側から打ち込まれたボールをタッチされ同点にされた。66分、右側から小野がセンターリングを通すと、サークル内で相手DFに当たりゴールに入るが判定はノーゴール。モニターに写った映像でもあきらかにオウンゴールであるが、審判の判定はノーゴール。2対2のままSOへ。(この大会はビデオ判定は導入されていない。)

(SO)新井、永井、駒澤が決めた3点を奪った日本が勝利。昨日に引き続き、GK大家が三人を止めた。

日本	11	シュート数	4	インド
	5	PC数	6	

次戦(第5戦) 2月24日(日) 14:00 ~ 日本対マレーシア

記載責任者: 女子コーチ 長谷部謙二
 校閲: 女子監督 柳 承辰